

新型コロナウイルスの対応策について

標記大会では、無観客で開催し、新型コロナウイルス感染拡大を防止するため、会場に入場する選手等すべての入場者が健康記録表を提出することをお願い致します。これらの結果に基づき参加可否を判断致します。

全日本柔道連盟主催大会は、「新型コロナウイルス感染症対策と柔道練習・試合再開の指針」に準拠し大会運営を行います。指針の最新版は、全柔連HP (<https://www.judo.or.jp/news/503/>) に掲載をしておりますので、大会に参加する皆様は、必ず事前にお目通しいただき、感染症対策を徹底したうえでのご参加をお願い致します。

また、今後指針の更新に当たり、大会要項を変更する可能性があります。

大会開催に向けて準備を進めておりますが、新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては、中止になる場合がございますので予めご了承ください。

1. 趣旨

講道館柔道において「形と乱取」は「文法と作文」に例えられるように修行の一体をなしている。「形」と「乱取」を修行することによって、勝負の理を体得し、修行の成果を得、柔道の奥義に進むことができる。特に「形」は柔道技術の基本形態の攻防の原理を学ぶ心身研磨の道である。

ここに、修行の意味を改めて認識し、「形」を通じて柔道の普及・振興を促進することを目指し、講道館柔道の「形」による競技大会を開催する。

2. 日時

令和4年2月6日（日） 開会 9:30 / 閉会 16:00（予定）

（午前の部） 投の形 極の形 講道館護身術 集合 9:00 6階学校道場

（午後の部） 固の形 柔の形 五の形 古式の形 集合 12:00 6階学校道場

3. 会場

講道館大道場

4. 主催

公益財団法人講道館、公益財団法人全日本柔道連盟

5. 後援

スポーツ庁、公益社団法人日本柔道整復師会（予定）

6. 競技種目

①投の形 ②固の形 ③極の形 ④柔の形 ⑤講道館護身術 ⑥五の形 ⑦古式の形

7. 出場資格

(1) 共通事項

ア. 日本国籍を有する者で、講道館入門者であり全日本柔道連盟登録を行っていること。

イ. 各種目ともに【地区枠】10組、【全国枠】最大3組、【推薦】3組の最大16組とし、1人1種目の出場とする。

(2) 地区枠

ア. 全国を構成する10地区からの予選等で選出された代表1組ずつとする。

イ. 出場する地区において居住、勤務、在学の実体の伴ういずれかの条件を満たしていること。

(3) 全国枠

令和3年4月24日に映像審査にて決定した組。

(4) 推薦組

ア. 令和元年全日本柔道形競技大会の優勝組（同じ形に出場する場合に限る）

イ. 2019年世界形柔道選手権大会の優勝組（同じ形に出場する場合に限る）

ウ. 2019年アジア形柔道選手権大会の優勝組（同じ形に出場する場合に限る）

8. 参加申込み

【地区枠】

- (1) 地区柔道連盟(連合会、協会)は、必要事項を記入した所定の選手名簿を本大会参加者が決定次第、全日本柔道連盟大会事業課(大会事務局)に提出すること。
- (2) 参加者は、所定の申込書を全日本柔道連盟大会事業課(大会事務局)から取得するか全日本柔道連盟ホームページにアクセスし、1月12日(水)までに全日本柔道連盟大会事業課(大会事務局)に申し込むこと。
- (3) 申込み後の選手変更は、地区柔道連盟(連合会、協会)が、(1)の参加申込書に変更理由書(書式自由)を添えて1月21日(金)までに届け出ること。

【全国枠】

- (1) 所定の申込書を全日本柔道連盟大会事業課(大会事務局)から取得するか、全日本柔道連盟ホームページにアクセスし、1月12日(水)までに全日本柔道連盟大会事業課(大会事務局)に申し込むこと。

【推薦組】

- (1) 所定の申込書を全日本柔道連盟大会事業課(大会事務局)から取得するか、全日本柔道連盟ホームページにアクセスし、1月12日(水)までに全日本柔道連盟大会事業課(大会事務局)に申し込むこと。

9. 競技方法

教育普及・MIND委員会形部会作成の「講道館形競技規定に関する申し合わせ事項」(別紙参照)を追加して実施する。

10. 服装

柔道衣は白色のみを着用すること。柔道衣に関しては全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣(上衣、下穿、帯)を着用すること。紅帯、紅白帯は除く。演技中、規格外の柔道衣着用が判明した場合は失格とする。認証ラベルの色は、上衣、下穿のIJFラベル、全柔連認証番号ラベルは、共に赤のみ使用可とする。帯のIJFラベルは赤、青、全柔連認証番号ラベルは赤、黒共に使用可とする。黒帯は白線入り帯も可とする。

11. ゼッケン

下記の要領で背部にゼッケンを縫い付けること。

- (1) ゼッケンのサイズは縦25~30cm、横30~35cmとし、後襟から5~10cm下部に縫い付ける。
- (2) 地区代表選手は、ゼッケンの上部2/3に苗字、下部1/3に地区名を表記する。
- (3) 全国枠出場選手は、ゼッケンの上部2/3に苗字、下部1/3に「全国」と表記する。
- (4) 推薦出場選手は、ゼッケンの上部2/3に苗字、下部1/3に「推薦」と表記する。
- (5) 書体は太いゴシック体、または明朝体で男子は黒色、女子は赤色とする。

12. 競技順序抽選

1月21日(金)に主催者が行う。推薦組はシードされ、6番目以降に配置される。

13. 表彰

各種目の上位3組を表彰する。(午前の部と午後の部と分けて実施)

14. 審査員

審査員は、全日本柔道連盟公認形審査員規定により、全日本柔道連盟教育普及・MIND委員会形部会が選考する。

15. 審査員会議

審査員会議を2月5日(土)15:00~17:00に行う。なお、模擬審査も会議とともに行う。(審査員の柔道衣は不要)

16. 経費

- (1) 参加する選手の交通費・宿泊費等の諸経費は、地区枠・全国枠・推薦出場を問わず、各自の負担とする。
- (2) 審査員の交通費・宿泊費等の諸経費は、主催者が負担する。

17. その他

- (1) 主催者は、選手の傷害保険に加入する。
- (2) 個人情報、肖像権の取り扱いについて

参加申込用紙に記載された個人情報、競技結果、大会中に撮影された写真、または動画等の映像が、大会プログラム、競技会場内外の掲示板等、全柔連ホームページ、大会ホームページに掲載される場合がある。また、その他の報道機関等により新聞、雑誌、テレビおよび関連ホームページ等に公開される場合がある。全柔連の許諾を受けたテレビ局等の企業により、試合を撮影した映像の中継・録画放送が、テレビ放映及びインターネット配信されることがある。提出された個人情報については、上記の利用目的以外に利用しない。

参加申込用紙の提出により、個人情報、競技結果、肖像権についての上記取り扱い、及び下記の健康記録表の取り扱いに関する承諾を得たものとして対応する。

(3) 健康記録表の提出について

今大会では、新型コロナウイルス感染拡大を防止するため、会場に入場する競技者等すべての入場者が健康記録表を提出すること。本記録表は本大会において新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、参加者の健康状態を確認することを目的とする。本記録表に記入いただいた個人情報については、厳正なる管理のもとに保管し、健康状態の把握、来場可否の判断および必要なご連絡のためにのみ利用する。また、個人情報保護法等の法令において認められる場合を除き本人の同意を得ずに第三者に提供しない。但し、大会会場にて感染症患者またはその疑いのある方が発見された場合に必要な範囲で保健所等に提供することがある。

(4) 新型コロナウイルス感染症予防対策の観点から、武器の貸出は行わない。

大会に関する問い合わせ及び参加申込書送付先

〒112-0003 東京都文京区春日 1-16-30 講道館本館 5F
公益財団法人全日本柔道連盟 大会事業課（大会事務局） 大塚・渡辺・寺下・時田
(TEL03-3818-4392 FAX 03-3812-3995 E-Mail taikai@judo.or.jp)

以上